

# Maz-motte

マズモット



## 未来は勇者のものである



## 新たな価値観を創造し



## NAGOYAから世界へ

Maz-motte Vol.4 2017.12.7 名古屋JCがつくる広報誌 JCI 発行/公益社団法人名古屋青年会議所 〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号 名古屋JC会館 TEL 052-221-8590

# 参加費無料!! 名古屋交通安全プロジェクト2017

開催日時 2017/12/17日 時間 13:00-16:00  
開催場所/名古屋市立栄小学校体育館 〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目28番地1  
交通安全をテーマに、地域みんなで一緒に交通安全を考え、体験しよう!!

**第1部 愛知県警担当者による講演**

開催時間 13:05-13:20

愛知県警担当者による、名古屋市内における交通事故の現状や特徴とその対策について、ご講演いただきます。

**第2部 交通安全啓発看板作成**

開催時間 13:20-15:40

参加者が組ごとに分かれて、交通安全啓発看板のデザインと色付けを体験することができます。

**第3部 ギネス申請のための写真撮影**

開催時間 15:40-15:55

ギネス記録申請用として、交通安全の啓発活動を参加者全員と一緒に写真撮影を行います。知名度の高いギネス申請という手法を用いることで、参加者の記憶に残り、参加当日に醸成された交通安全意識を広く世に知っていただき、名古屋が安心安全に暮らせるまちを目指す一助となることを目的とします。

**ただいま参加者を募集中!** 参加費は無料!

**参加資格** 名古屋市に在住もしくは在学中の小学生 ※服装自由、ご持参いただく物はございません。

**申し込み方法** 弊所ホームページからご応募下さい。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

**申し込み期限** 12月15日(金)到着分までの申込みより抽選。

**マズモット定期送付ご希望の方へ**

携帯、スマートフォン、パソコンからお申し込み

- QRコードを読み取ってください→
- 「マズモット定期送付依頼フォーム」から必要事項をご入力ください。

※QRコードでなく、入力の際は下記アドレスをご入力ください。  
[https://www.nagoyajc.or.jp/67nendo/about/mazmotte/main\\_form.php](https://www.nagoyajc.or.jp/67nendo/about/mazmotte/main_form.php)  
 ※ご記入いただいた個人情報、個人情報保護法に従い扱います。  
 ※公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。  
 ※アクセスにはお契約の通信料がかかります

**名古屋の魅力を発信する情報をゲット!**

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中!

公式 YouTube チャンネル 公式 Facebook 公式 Instagram LINE 公式 LINE

**編集後記**

まずもって、10月20日(金)を予定していた広報誌「Maz-motte 10月号」の発刊が大幅に遅れてしまったことで、定期購読者みなさま、並びに、編集作業にご協力いただいている方々に大変なご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

私たち公益社団法人名古屋青年会議所の広報委員会は、広報誌の制作過程の中で、常に今年度の運動を振り返る作業を行っています。そして、私たち広報委員会は、撮影業務を担い、全ての事業・例会、諸会議・諸大会に携わり、カメラのレンズを通して、活躍する市民と会員の姿を追ってまいりました。さらに、広報委員会は、議案審査会議という、名古屋青年会議所の各事業・例会の企画書に最初に触れる会議で審査側に

席を置いて、計画段階から、その事業・例会によって2017年度大和直樹理事長の掲げる所信に沿った運動が展開されるかを議論してまいりました。

そのような立場から、2017年度の数多くの運動を表現するために、今回は、理事長所信を要約し、第67年度の運動方針を端的に表すスローガン「未来は勇者のものである～新たな価値観を創造し、NAGOYAから未来へ～」を表現する運動と写真を集め紹介することに多くのページを割きました。

この広報誌が、2017年度の公益社団法人名古屋青年会議所の運動の成果と行動を反映し、みなさまの心に新たな価値観を創造する一助となることを祈念して、編集後記の言葉に変えさせていただきます。

- 編集者 公益社団法人名古屋青年会議所 広報委員会
- 編集長 保田幸希
- 副編集長 横斐晴基 杉晴樹 篠崎ひとみ 武藤憲幸 矢野大輔
- 編集員 相川信郎 岩崎陽介 岩田孝之 岩間泰之 鶴岡直樹  
 大西幸義 大橋飛鳥 奥田英里 加藤丈博 小早川洋介  
 近藤優介 三枝祐一 柴田達也 杉山裕一 鈴木貴則  
 高木賢一郎 高田智仁 田之上慶彦 恒川大輔 寺島市朗  
 中島康雄 成瀬晋一 野村茂彦 野間友長 早川祐希  
 早野誠 東勝彦 岡野友長 本田正正 菱島太地  
 村瀬雄介 森光賢 横井佑典

# 次代に伝えたい！ 名古屋食文化遺産

取材・撮影・文 永谷正樹

## 「第3回」味噌かつ

今や名古屋観光の目玉となっている「名古屋めし」。その反面、地元の人にはあまり食べなくなっているという話も耳にします。まず私たちが名古屋の食文化を学び、「名古屋めし」を食べることで郷土に思いを寄せ、ひいては子供世代にその素晴らしさを伝えていきたいと思います。

### どて煮の鍋に浸した串かつが味噌かつのルーツ？

「名古屋めし」と聞いて、味噌かつを真っ先に思い浮かべる人は少なくないでしょう。とんかつと味噌という組み合わせは、地元で昔から食べてきた私たちにとって当たり前ですが、県外の人は違和感を抱くようです。なかには拒絶する人もいて、とくにネットでは、名古屋名物「ゲテモノ喰いと揶揄されてきました。潮目が変わったのは、2000年代初頭。05年に愛知万博を控えた頃、名古屋が全国から注目を集めました。「名古屋めし」という言葉も生まれ、味噌かつは不遇な時代を乗り越えたのです。

そもそも味噌かつは、戦後間もない頃に名古屋駅や伏見の界隈に軒を連ねていた屋台が感が損なわれてしまつたのです。豚肉は愛知県の知多三元豚をはじめ、時々ごに厳選しています。分厚くカットしてあるにもかかわらず、とてもやわらかく、肉の旨みもしっかり。脂もほのかに甘みを感じます。薄衣の中に見事なまでに豚肉の旨みを封じ込めているのは、絶妙な火加減がなせる技にほかなりません。本店から先代へ、そして、先代から二代目の高杉さんへと受け継がれた歴史が走馬燈のように駆け巡ります。

また、味噌だれは、八丁味噌ではなく、店からほど近い愛知県あま市にある佐藤醸造、いや、地元では「七宝みそ」と言った方が通じるでしょう。その豆味噌をベースに鰹だしをくわえ、甘すぎず、辛すぎず、さっぱりとした口当たりで仕上げられています。これがご飯に合わないわけがありません。おかずとしてのポテンシャルが高く、ご飯がいくらでも食べられます。これが味噌かつの醍醐味でしょう。

### 卵をコーティングして焼き上げたフワフワ食感の味噌かつ

一方、緑区徳重にある「とんかつ・キッチンカナン」では、ケチャップと野菜の特製ソースでいただく「アメリカンとんかつ」やトマトソースとろけるチーズをのせた「イタリアンとんかつ」、キムチがてんこ盛りの「コリアンとんかつ」など、ワールドとんかつシリーズなるメニューが名物。

「ほかにもソーセージとチーズを挟んで揚げたジャーマンやカレーソースでいただくインディアン、パインをのせたハワイアンなどがあります。すべて先代である父が考案したものです。その原点が「フレンチとんかつ」です。二代目店主の中島良平さん。

- ①名代ロースカツ(みそ) 「名代ロースかつ(みそ)」1360円(定食は1690円)。脂がほんのりと甘く、赤身は旨みがしっかり。
- ②カニクリームコロッケとエビフライの盛り合わせ定食 女性に人気の「カニクリームコロッケとエビフライの盛り合わせ定食」1680円(単品は1350円)。「ハンバーグステーキ」1100円(定食は1530円)や「ビーフタンシチュー」1950円など洋食も揃う。
- ③店主の高杉満さん 高杉さんとの会話を楽しみに訪れる客も少なくはない。



①



④

④フレンチとんかつ 「フレンチとんかつ」702円(定食は1004円)。揚げる前のとんかつを溶き卵に浸してあるので、衣は厚めだが、フワフワの食感がクセになる。ゆっくりと火が入るためか、肉もとてもやわらかい。定食のライスは大盛と、おかわり1回までは無料という嬉しいサービス。

⑤店主の中島良平さん 二代目店主となって5年目。今では中島さんが考案した新メニューも多い。



### 薄衣に封じ込められた肉の旨みをコクのある味噌だれが引き出す

今回紹介するのは、中村区稲葉地本通にある「名代とんかつ八千代 味噌」。ここは、大正時代から昭和の終わりまで、中区錦で営業していた「ステーキハウス八千代本店」から継承された先代が昭和37年に開店させました。本店は、舌の肥えた財界人や政治家、文化人が集うサロンの名店だったそうです。先代は本店から受け継いだ味と技術を守ること第一として、食材選びはもちろん、ソース類やドレッシング、マヨネーズにいたるまで、すべて本店のレシピをそのまま再現しました。

「本店のメニューに味噌かつがなかったの、先代は作りませんでした。それを知らずにわざわざ県外からお客さんが来るわけです。味噌かつがないことがきっかけで帰る姿を見て、先代もようやく作る決断をしました。2000年頃のことです」と、話すのは、二代目店主の高杉満さん。

今ではすっかり店の看板メニューとなった「名代ロースかつ(みそ)」は、味噌だれが別皿で出されます。一切れずつ味噌だれにつけて食べると、その理由がわかります。肉の旨みや食感が伝わるように薄衣で仕上げられてあり、かつ全体に味噌だれをかけてしまうと、衣の食感が楽しめず(中島さん)。「朝、母がフレンチトーストを作っていたのを見て、このメニューのアイデアが浮かんだそうです。衣が付いたとんかつを溶き卵に浸した後、フライパンで焼き上げます。油で揚げないのです、ヘルシーな上にフワフワの食感が楽しめます(中島さん)。

また、フレンチというだけに、ソースは赤ワインを煮詰めたものかと思いきや、そこは名古屋らしく味噌だれでした(笑)。ちなみに味噌だれは隠し味にオイスターソースをくわえた自家製。深いコクがあり、思いきりご飯を掻き込みたくなります。この味噌だれと卵でコーティングされたとんかつの相性の良さは、言うまでもありませんが、フレンチとんかつには、卵にも味噌にもよく合うマヨネーズがかかっています。ほどよい酸味がアクセントとなり、最後の一切れまで飽きることなく美味しく食べられます。味噌かつは味噌だれととんかつを合わせたシンプルなメニューですが、お店ごとにさまざまなこだわりがあります。その奥深さをあらためて思い知らされました。

## 店 DATA

### 名代とんかつ八千代 味噌

住：名古屋市中村区稲葉地本通り2-9-1  
Tel：052-412-0568  
営：11:00～14:30(14:00L.O.)  
17:00～20:30(20:00L.O.)  
休：金、木の夜

### とんかつ・キッチン カナン

住：名古屋緑区徳重 5-909  
Tel：052-876-7762  
営：11:00～14:00  
17:00～22:00(21:30L.O.)  
休：月



永谷正樹  
ながや まさき

### Profile

'69年愛知県生まれ。名古屋の食をテーマに『おとなの週末』(講談社)や『STORY』、『女性自身』(光文社)などの全国誌に記事と写真を提供するフードライター兼カメラマン。講演やテレビ出演のオファーも多数。

# 名古屋青年会議所

# 女性卒業生からみた

公益社団法人名古屋青年会議所  
広報誌「マズモッテ」インタビュー



Q 入会したきっかけについて  
教えて下さい。  
社会で活躍している女性がいらっしやるとの事で紹介いただき、名古屋青年会議所のお話を伺いました。「青年会議所では、社業や普段の生活では得られない横とつながりが得られる。そして、自分が望んで積極的に関わっていくことで色々な機会が得られる」という内容でした。私はお話を聞きに行く時点で、入るつもりでお会いしましたし、お話ししていただいたことに率直にいい機会が得られたと思いい入会に至りました。



第67年度 公益社団法人名古屋青年会議所  
リアル経済研究委員会  
委員 織田 文江

Q 女性の社会進出が進む中、依然として、名古屋青年会議所の男女比ではまだまだ男性が多いです。織田委員からみて、今後、この組織がどのような方向に向かっているのかと考えるとどうですか。  
働き盛りの青年が集う団体であると同時に、家庭を持ち子供の成長も楽しみながらの時代。会員の方がたくさんいらっしやいます。仕事やJCの活動をしながらも、家族との時間を十分に共有することが大切だと思います。また、自身のパートナー（妻・夫）が社会とつながる仕事やコミュニティと関わられるようJCで学んだことを持ち返ってサポートするべきかと考えます。こうした視点で活動していくことで、新たな観点でJCの存在意義を高めることができ、今後の青年会議所運動の方向性が見えてくるのではないかと思います。

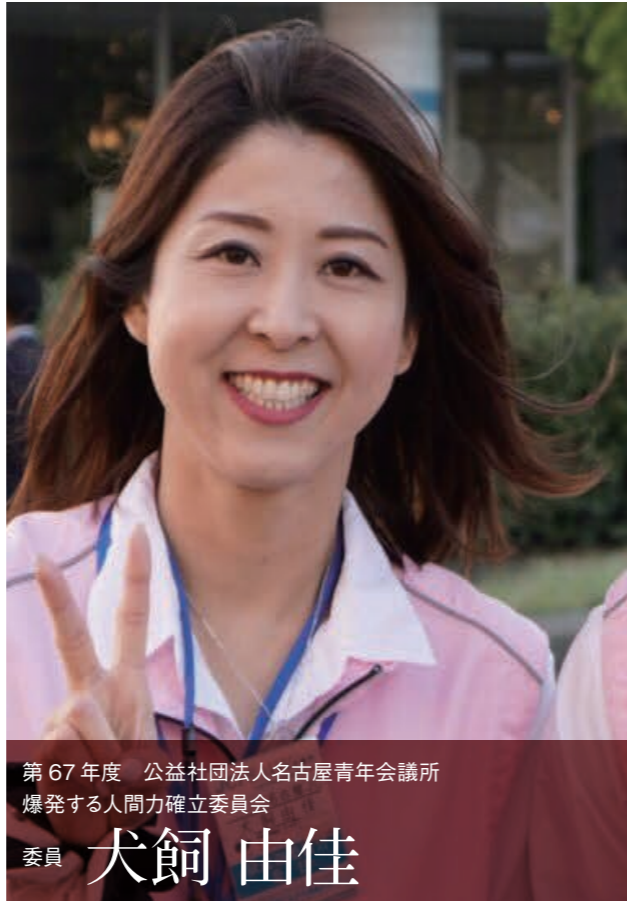
Q 今後、JCで学んだことを社業や社会活動にどのように活かしていきたいですか。  
社業については、名古屋青年会議所で今までの出会った方々とのつながりを持ち続けて、名古屋青年会議所が行う事業・例会に参加することや、仲間と語る機会を持ち続けることで、社会の変化をつかみ、常に有益な情報を取り入れていきます。  
社会活動については、JCの事業・例会などで知識を増やし、経験させていただいた事により、社会の見方や新しい考え方に気づく事が出来たので、これからは社会のため何ができるかを考え、新たな学びの機会を持ち続けていきたいです。

Q 名古屋青年会議所に所属している女性や現時点で入会を検討している女性の方にメッセージをお願いいたします。  
多忙な20代・30代の女性にとって時間を作り出すのは、時には無理しなくてはならないこともありますが、仕事や家庭に明け暮れている人生では考えられないような出会いがあり、新たな価値観を模索することで見識が広がり、人生の幅や楽しさが広がった気がします。是非、少しだけ背伸びして、かけがえのない機会をものにして下さい。

Q 活動の中で感じた喜びや感動したことを教えてください。  
新入会員の時、ディベート大会に参加しました。私はディベートに参加したことが初めてで右も左も分からず、不安だらけでしたが、みんなが協力しあい、助け合ったことでなんと乗り切ることができました。  
また、名古屋青年会議所には理事候補者選出選挙というものがありますが、名古屋青年会議所の代表を決めるために本気で向き合う会員たちの姿に感動しました。  
後は、今年の全国大会卒業式でウルフルズのライブを見ることが出来たことです(笑)。

Q 女性会員であることによるメリット・デメリットを感じましたか？  
デメリットは感じたことがありません。  
名古屋青年会議所の現状として、女性会員数はまだまだ少ないです。それ故に、重宝がられる所がメリットです。自分の立場で意見をすることだけでも、名古屋青年会議所にとつ

Q 織田委員にとってJCとは？  
「学び場です」  
ありがとうございます。



第67年度 公益社団法人名古屋青年会議所  
爆発する人間力確立委員会  
委員 犬飼 由佳



Q 入会したきっかけについて  
教えて下さい。  
父が経営する青果物卸業を継ぐ決意をしたのが、結婚生活に終止符を打ち、娘一人を育て上げる為に何か職を探さなくてはいけないと思った時でした。それまで専業主婦だった私は社会に出る不安、会社を継ぐ不安を抱いておりました。そんな時、偶々名古屋青年会議

Q 女性会員であることによるメリット・デメリットを感じましたか？  
女性会員が増えたとはいえず、まだまだ男性会員が圧倒的に多い名古屋青年会議所です。普段活動していると、男性と女性の溝は完全には埋まらないのかな？と思うことも確かにあります。女性会員ということで、色々な面で助けて頂いたり、支えて頂いたり、女性で

所に入会の話をしていただき、これも何かのご縁と思い、即入会を決めました。

Q 女性の社会進出が進む中、依然として、名古屋青年会議所の男女比ではまだまだ男性が多いです。犬飼委員からみて、今後、この組織がどのような方向に向かっているのかと考えるとどうですか。  
確かに、比率としては男性の方が多くですが、私が入会した時と比べれば、女性会員数は増えています。また、青年会議所内で活躍されている女性会員の方も非常に増えております。やる気のある方が一歩前へ出ようとする時、皆さんが必ず支えてくれる組織だと、私は確信しています。そして、慌てて女性会員を集めなくても名古屋の社会に活躍する女性が増えれば、名古屋青年会議所にも活躍する女性会員の数は自ずと増えていくと思います。

あることで気を使っていただけのこと、メリットといってもいいかもしれませんが、逆に、男同士のフラットな関係とは違い、少し距離を感じる時もあります。そういった友人作りという側面では若干デメリットとも言えるかもしれないですね。でも、活動する上では何ら問題を感じることはありません。

Q 名古屋青年会議所に所属している女性や現時点で入会を検討している女性の方にメッセージをお願いいたします。  
青年会議所という組織は、入会してから40歳になるまでの限りある期間でした活動することができません。より多くの経験を得るためには、自分だけの物差しを捨て、大きな視野を持って青年会議所の活動を楽しんでいただきたいです。

Q 今後、JCで学んだことを社業や社会活動にどのように活かしていきたいかと思っていますか。  
人との絆づくりを活かしていきたいと思っています。常に思いやりの心を持ち支え合うことで深い絆が出来、人づくりから街づくりへと私たちの運動が繋がっていきます。人と人の絆が出来ていくことで気が付けば誰もが豊かな社会に向かってくれたらいいですね。

Q 名古屋青年会議所で活動してきた中で感じた喜びや感動したことを教えてください。  
青年会議所活動は単年度制であり、一年ごとに新たな出会いがあります。出会った会員の方と一緒に一つの事をつくり上げていく時の楽しさ、もどかしさを感じたりします。  
入会されて間もない方などが、真剣に青年会議所の運動に取り組む中で、人との出会いや強烈な原体験をきっかけに物の捉え方が変わり、成長する姿を見たときは、一人一人の考え方を考えることができる、この団体は素晴らしいと何度も感じさせていただきました。

Q 犬飼委員にとって、JCとは？  
色々な経験ができ、自己成長できる団体だと思います。

ありがとうございます。

② 未来を彩るテクノロジーを研究する事業  
「夢と希望で溢れる未来を！テクノロジーと共に歩む名古屋のまち」

科学の発展は生活の変化をもたらす、子供たちは、私たち親世代が過ごしてきた時代とは全く違う世界を生きています。科学の可能性を知ると共に、倫理観・道徳心をもって、科学の発展に向き合う必要があります。当事業では、子どもたちに、テクノロジーによる新しい世界を実体験を通して、ふれあっていただきました。

【第1部】

オリジナルリニアを走らせよう！  
リニアを通してみる名古屋の未来  
テクノロジーを知る入門講座(計6ヶ所)



【第2部】

先端テクノロジーの今  
テクノロジーを見て・触って体験する基礎講座



【第3部】

テクノロジーって何のためにある？  
テクノロジーを理解し利用する応用講座

【第4部】

未来を彩るテクノロジー体験&自分だけの  
テレビ塔発表会！！  
テクノロジーを利用する実践講座



① 未来へのソウゾリョク育成事業～子供のソウゾリョクのスイッチを入れよう！～

子供たちが想像力豊かになり、新たな価値を創造していくために、全4回の事業を通して、失敗を恐れず、何事も果敢に挑戦する意識を醸成するための事業を実施しました。

【第1回】

楽器を作って演奏家になろう！  
ソウゾリョク育成講座



【第2回】

感性を描いて画家になろう！  
ソウゾリョク育成講座



【第3回】

言葉を紡いで作家になろう！  
ソウゾリョク育成講座



【第4回】

レゴビルダーになろう！  
ソウゾリョク育成講座



# 未来は勇者のものである

～新たな価値観を創造しNAGOYAから世界へ～  
2017年度 子どもたちに向けた事業の軌跡

明るい豊かな社会を創造するために、教育はかなり重要な位置づけにあります。名古屋青年会議所でも、子供たちに向けた事業が毎年行われています。2017年度は、子供たちのソウゾリョク（想像力と創造力）を育む事業と、目まぐるしく発展するテクノロジーを子どもの目線で学び、新しい価値観に触れる事業が行われました。そして、毎年行われるわんぱく相撲も年々、新たな手法を取り入れ進化しています。また、各委員会が企画・運営する事業の中にも、子供たちが参加可能で、楽しみながらも挑戦する機会を提供して参りました。

③ 第34回 わんぱく相撲 名古屋大会

毎年恒例。日本全国で行われている、わんぱく相撲。  
2016年度に行われた市長杯を踏襲し、2017年度は、さらに新しく区長杯を設けました。各区で行われる予選大会を区長杯と位置づけ、優勝した子たちを表彰しました。また、西別院で行われた決勝当日は、初の敗者復活戦も繰り広げられ、多くの子どもたちの熱気に包まれました。

5月13日・14日 各区会場  
予選「区長杯」

5月28日 本願寺名古屋別院(西別院)  
敗者復活戦 決勝「市長杯」



⑥ スポーツマンシップ  
NAGOYAフェスティバル

スポーツを通じ障害者と健常者が相互理解を深めることを目的とし、年齢・性別・障害など人とは異なる個性として捉え、差別なく同じ社会で生活をしていくノーマライゼーションのきっかけとする。



⑤ JCエキスポ 職業体験ブース

子供たちに世の中には様々な職種が存在することを知っていただくと共に、体験した職業に就きたいと思う原体験となる経験をさせることで、夢や目標を持つ機会を提供。



④ JCフェスティバル 合戦ゲーム

三英傑合戦 クールジャパンと言われる「サムライ文化」と名古屋の誇りというべき「三英傑」を融合させた「クール・ナゴヤ」



# 未来は勇者のものである

## ～新たな価値観を創造しNAGOYAから世界へ～ 2017年度 国際ミッションの軌跡

「…違った文化を持つ彼らとの交流を積極的に図っていくことは、グローバルな視野を養い、価値観を変える素晴らしい機会だと思う…今後、名古屋の地においてMICEの誘致に拍車がかかるだろう…名古屋青年会議所が培ってきた自治体や諸団体との関係を活かしつつ、「新たな価値観を生み出すまち名古屋」の創造を目指していきたい。」(2017年度(第67年度)公益社団法人名古屋青年会議所 理事長所信より抜粋)

### ⑥ 各種大会

毎年、行われるJCI世界会議・JCI ASPAC(アジア・太平洋エリア会議)には、今年も多く多くの同志が集まり、名古屋青年会議所からも公益社団法人日本青年会議所2017年度会頭の青木照護君を始めとする多くのメンバーが国境を越えて交流しました。

2017 JCI世界会議 アムステルダム大会



2017 JCI ASPAC ウランバートル大会



### ⑤ ランス姉妹締結

これまで提携してきた姉妹都市(ロサンゼルス市・メキシコ市・南京市・シドニー市・トリノ市)は、行政間の事務的な交流にとどまり、市民レベルでの交流は決して活発とは言えません。この度新たに姉妹提携をするフランスのランス市は名古屋市と美術を通じて交流してきました。姉妹都市を結ぶことで、市民間の活発な交流にし、新たな姉妹都市の友好関係を築くモデルを作り成功させることで、他の姉妹都市との関係性も行政間の事務的なつながりだけでなく市民間のメリットのある友好関係の再構築を目指しています。

そこで、我々名古屋青年開所が率先して、名古屋市と姉妹都市との提携による市民や企業との未来の交流活動モデルを創出しました。

2017年11月30日(木)、名古屋市美術館で、11月例会「国際都市NAGOYAの価値観を創造しよう」が開催されました。

また、2017年11月20日、名古屋市公館に執り行われた名古屋・ランス姉妹都市提携調印式にも立ち会いました。



### ④ ロボカップ2017名古屋世界大会

ロボカップ2017名古屋世界大会のメジャーパーティに名古屋青年会議所が参加し、産学官連携で行う大会にて名古屋の魅力を発信しました。次代を担う外国の大学生と交流を図ることができる事業となりました。

【WE LOVE NAGOYA NIGHT】  
世代を問わず、国籍を問わず、言葉の壁もなく、人間だけが持つ共通の表現は笑顔です。各ブースでは、皆が楽しめるゲームをしました。外国人と共に楽しみ時間を共有することで、国際交流をすることが出来ました。そして外国人に名古屋を体感していただきます。閉鎖的な名古屋人のイメージを壊し、言葉の壁を越えたおもてなしを提供することで心と心がつながる国際交流となりました。

コスプレブース・名古屋めしブース・甲冑体験ブース・射的ブースなどの設営の他、メディアボードを用いて、外国人の方々との交流をする中で、NAGOYAの魅力を発信することが出来ました。



### ③ 8-shiboru(エシボル)プロジェクト

世界中には欧米主導のグローバリゼーションの弊害として貧困、環境破壊・児童労働等の深刻な問題が、特に発展途上国の貧しい地域において起きています。国際的にみて経済的にも成熟している名古屋市民だからこそ、その負の連鎖を止めるためのアクションを率先して起こしていかなければいけません。世界中で起こる貧困や環境破壊の問題に目を向け、我々市民の一人ひとりがその当事者としての意識をもって国際貢献できる手段を考えていくことが必要です。

8-shiboru(エシボル)プロジェクトの商品は、普段の生活の中で消費(購入)する商品を選択することで、そういった海外の途上国で起こっている様々な問題をより良くすることができる、そんな商品を開発するプロジェクトとして立ち上げられました。

商品HPのURL (<https://www.8shiboru.com>)

#### 【実施概要】

本事業は、カンボジア並びにインドでの実地調査を踏まえ、カンボジア並びにインドで栽培されているオーガニックコットンを用いて、名古屋で伝統的に受け継がれてきた有松絞りの技術を掛け合わせた商品を開発しました。その商品を名古屋で継続的に販売することにより、持続可能な国際貢献の仕組みを創設し、名古屋で国際貢献ができることを市民に発信します。また、8-shiboru(エシボル)というブランドを立ち上げ、ブランディングすることにより、商品の価値並びに知名度を高め、市民に倫理的な消費活動を知っていただきます。また、例会において、名古屋青年会議所がプロデュースした商品を発表し、現地の状況を発表することで市民が世界の課題を自分事と捉える契機となりました。



### ② 姉妹校交流

2017年度は、3Gプロジェクトなどの事業に留まらず、一年を通して、姉妹提携関係のあるマニラJCI、九龍JCI、台北女子JCI及びハワイカイJCIの4姉妹JCIとの交流を幾度と重ねました。林宏和委員長率いるグローバルネットワーク推進委員会の企画・運営のもと、姉妹JCI訪問や、訪問して下さる姉妹JCIとの交流の場を通して、国際を意識した運動が可能となりました。



### 3G-Project ① ~Global network Gathering for next Generation~

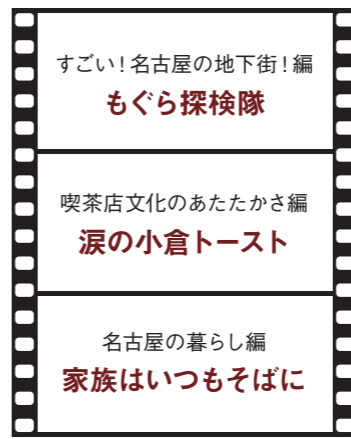
名古屋青年会議所と姉妹提携関係のあるマニラJCI、九龍JCI、台北女子JCI及びハワイカイJCIの4姉妹JCIから高校生を名古屋に招き、名古屋の高校生との交流事業を実施しました。4姉妹JCIからは各3名ずつ計12名の高校生を招き、名古屋からも12名の高校生が参加し、計24名の若者たちがワークショップやフィールドワークの内容に応じて臨機応変にチーム編成をして活動しました。

若者たちは、寝食を共にしながら、互いの国の文化や歴史を紹介し合うワークショップや名古屋の文化や技術を体験するフィールドワークを行うことで相互理解を進めつつ友好関係を築きました。また、国際社会で活躍するためのリーダーシップトレーニングや国際社会で活躍する企業や人と触れ意見交換することを経て、未来の国際社会において自分がどのように活躍できるかにつき具体的なビジョンを描きました。





# 私たちの名古屋 ～ Pride&Future ～



名古屋のまちや人の素晴らしさを市民がま  
ず知ること。そして、その素晴らしさを周  
りの人たちに伝えていくことで、名古屋の価値  
を高める。

公益社団法人名古屋青年会議所 第67年度  
広報委員会の事業では、この目的のために、  
PR動画を制作しました。

絵コンテ制作は、名古屋の学生さんたちと  
協力して行いました。協力してくれたのは、  
ナゴ校のみなさん。ナゴ校とは、発想力豊か  
な学生を「まちづくりのパートナー」とし  
て、名古屋が学生と社会をつなぎ、学生の  
活力による魅力あふれるまち「なごや」を目  
指す取り組みです。

こうして制作した動画は、3本×30秒。

より多くの市民の方々にみていただくため  
に、ポスター・チラシの掲示・配布や中部国  
際空港（セントレア）ビジョンでの上映、名  
古屋青年会議所の公式YouTubeチャ  
ネルを初めとしたSNSでの拡散やプレスリ  
リース、そして、10月28日（土）に名古屋城  
で行われたHalloween HAPPY  
MAMA PARKでのステージ発表とブ  
ィス出展などでPR動画を展開しました。

PR動画の上映と、名古屋青年会議所が行っ  
てきた2017年度の活動を紹介しました。  
ステージ発表は、吉本芸人のタケトさん（B  
コース）の司会のもと、山本一統副理事長が  
本事業の趣旨説明を行い、マタレントの安  
田美沙子さんのトークショーの中で、PR動  
画を上映し、コメントをいただきました。

**④ 事業全体を通して**

本事業、「私たちの名古屋」Pride&F  
uture」は、名古屋のまちや人の素晴らし  
さを名古屋市民が知って、名古屋のまちに  
誇りをもって、知人・友人に語ることで、名  
古屋の素晴らしさを対外的にも発信してい  
くという目的で展開してまいりました。

そのために手法として、大きく2つのテー  
マを念頭において進めています。

**一つ目は、オールメディアです。**

ソーシャルネットワークの普及によって、  
人々が情報を得る手段は格段に増えました。  
メディアとは、新聞・テレビを代表にしたマ  
スメディアと、Facebook・Insta  
gramやLINEなど目まぐるしく盛衰する  
ソーシャルメディア（SNS）と大きく2つに  
分かれますが、現在においては、このマ  
スメディアとソーシャルメディアは互いに連  
結していき、それぞれの特徴を活かし、よ  
り強い発信を可能にしています。私たちは様  
々なメディアと関わり、特徴を知ること、マ  
スメディアの弊害も感じることができまし  
た。メディアは情報を拡散する上で、そこに携  
わる人々にとっては、拡散するまでの距離が  
短く、情報の重要度に関わらず、ある一定の影  
響力を一握りの人々が持つことも可能です。  
しかしながら、SNSは情報の是非に関わら  
ず、誰もが発信することが出来るツールで  
情報の利用は受け手側の責任までも問われ

## ① ナゴ校による絵コンテ制作

学生と社会をつなぐプラットフォーム「N  
AGOYA学生キャンパス「ナゴ校」」。  
ナゴ校は、名古屋が窓口となり、企業・団  
体と学生をつなげて名古屋のまちづくりに取  
り組んでいます。学生たちはいくつものチ  
ームに分かれていますが、今回、ご協力いた  
だいたのは、「Ishiki」のみなさん。映  
像制作チームとして活躍していて、ケーブ  
ルテレビの番組制作や名古屋港水族館のCM制  
作などの実績もある団体です。

今回の事業では、学生だからこそその新し  
い名古屋の魅力を発信していただくこと、絵  
コンテ制作をお願いしました。毎週木曜日に行  
われている会議に青年会議所のメンバーと映  
像制作会社加わり、絵コンテ制作の技術や  
今回の事業の趣旨について講義しました。

名古屋の学生たちは、地元を離れたことが  
ない学生も多く、名古屋のまちを客観視す  
ることに最初は戸惑っていましたが、宿題として  
持ち帰り、名古屋について調べていく中で、名  
古屋に暮らす人々の優しさや、このまちの暮  
らやすさに気づき、30秒という短い時間で表  
現するために関連に議論を交わっていました。

絵コンテ制作の最終回は、名古屋観光交  
流特命大使である梅本まどかさん（SKE4  
8卒業生）に参加いただき、制作した絵コン  
テやその絵コンテを描くにいたった想いを伝



時代になっていくかと思いますが、名古屋青年  
会議所は、市民意識変革運動というように、  
名古屋市民一人ひとりがまちを想うことで、誰  
もが当事者意識をもって名古屋のまちづくりに  
取り組むために運動しています。明るい豊  
かな社会を目指すためにも、メディアの現状を  
知り、正しい情報をより多くの市民のみなさ  
んに発信し、共感を得ることが大切です。オ  
ールメディアは複雑化するメディアを熟知し、最  
大限に活かすことで発信力を高め、人々に共  
感される情報を提供することです。

**二つ目は、オールナゴヤです。**

青年会議所は、20代・30代の特に会社経営に  
携わることの多い会員が主な構成員で、男性の  
比率も多いです。したがって、名古屋青年会議  
所会員の意見に偏って、名古屋の素晴らしさを  
主張しても、名古屋市民全体に対する共感の幅  
は限られてしまいます。また、行政も、まちづ  
くりの要でありながら、市民の意見を取り入れ  
るには、まだまだ課題が多く、逆に、市民も名  
古屋のまちづくりに携わる人口が少ないため、  
名古屋市の取り組みを知らずに行政の批判を  
する人の言葉に意見を左右しているのではない  
でしょうか。まちづくりは、まさに、私たち  
名古屋市民のためであり、まちづくりをする当  
事者は、行政であろうと、企業人であろうと、  
ボランティアであろうと、主婦や学生であら  
うと、名古屋に関わる全ての人たちであるべき  
と考えます。特に、学生たちは未来の名古屋を支  
える貴重な人材であり、PR動画を制作するこ  
とで、学生たちの夢を載せた一歩先の名古屋の  
まちづくりが実現するのではないかとと思いまし  
た。そして、ママフェスで動画発表したこと  
は、未来に想いを託すママたちへの発信が新し  
い名古屋のまちづくりに繋がればという考えか  
らです。学生たちが名古屋の素晴らしさを考え  
た結果は、名古屋のまちの暮らしやすさと、名  
古屋に暮らす人々の優しさでした。地下鉄編も

え、名古屋のまちづくりに積極的に参加する  
タレントとしての客観的な意見を頂戴しまし  
た。「学生だからこそ、未来を見据えた名古  
屋のまちのビジョンを描くことができ、学生  
たちが持つ興味や夢に携わる中で、名古屋の  
まちのことを想うきっかけになるので、こう  
いった機会が増えるといいですね。」

## ② ロケ撮影

映像制作は、プロに委託することで技術面  
をサポートしていただきましたが、絵コンテ  
の内容を動画に反映させるために、ナゴ校の  
学生にも一緒に参加していただきました。絵  
コンテで描いたアイデアを映像に変えていく  
作業に関わる中で、学生たちは、リアルな映  
像制作の現場を体験することが出来ました。  
そして、その反面、名古屋の素晴らしさを表  
現することの難しさも感じたようです。

## ③ Halloween HAPPY MAMA PARK

2017年10月28日（土）に名古屋城二  
の丸広場で行われたHalloween H  
APPY MAMA PARKにおいて、制  
作したPR動画の発表会が行われました。  
当日は、あいにくの雨でしたが、朝10時か  
ら夜の8時まで、計4つのブース出展を行



ありますが、こちらも自動車が走る地上に比べ  
て、安心・安全に過ごすことの出来る地下街の  
発達が名古屋の特徴だと主張するものです。

暮らしやすさを表現するのは確かに難しく、  
今回、制作したPR動画で、これを名古屋の特  
徴として表現できたかという点、決して優秀な  
動画ではなかったと思います。しかし、この動  
画の狙いや、制作する過程を知っていただくこ  
とには、充分な意義があるはずで、名古屋の  
まちづくりのために、行政だけでなく、学生や  
ママたち、企業・団体、学校、パパたち...み  
んながみんなのために行動するべきです。

もっと、名古屋のまちを暮らしやすくす  
るために、すべての名古屋人がそれぞれの立場  
で、何が出来るかを考えて欲しい。そのキッカ  
ケを少しでも生めたら事業を行った意義があ  
るのだろうと思います。

事業を構築していく中で、オールメ  
ディア・オールナゴヤが狙い通りだったかとい  
うと、正直、理想の半分も達成できなかったの  
が現状です。それは、行動を共にする委員会  
メンバーやスタッフ、そして、学生や協働業  
者の共感を十分に得られなかったことに原因  
があるのかもしれない。身近な人を飛び越  
えて、市民全体の共感を得ることは不可能で  
す。「志を同じくする者相集い」名古屋青年  
会議所の対外への運動発信がより進化してい  
くことを願っています。

